

公益社団法人 長泉町シルバー人材センター

第11回 定時総会

議 案 書

日 時 令和4（2022）年6月24日（金）午前9時30分から

場 所 コミュニティながいずみ 3階ホール（下土狩駅前）

公益社団法人 長泉町シルバー人材センター

駿東郡長泉町桜堤1丁目10番9号 長泉町ワークプラザ内

TEL（055）988-2670

FAX（055）988-2681

E-mail;nagaizumi@sjc.ne.jp ホームページはこちら
携帯のカメラからもアクセスできます



長泉町シルバー人材センター ライン公式アカウント取得！
こちらから友だち登録して事務局とつながろう！



LINE 友だち追加

スローガン

- ◎ 自主 ・ 自立、共働 ・ 共助
- ◎ 会員を増強し、組織の充実を図ろう
- ◎ お客様の気持ちになって
仕事をしよう

第11回 定時総会 次第

1. 開会のことば

2. 理事長 挨拶

3. 来賓祝辞

4. 表彰

 会員在籍30年表彰

 会員在籍20年表彰

 会員在籍10年表彰

5. 喜寿祝い

6. 議長選出

7. 定足数の確認

8. 議事録署名人の指名

9. 報告事項

 監事の監査報告

 令和3年度事業報告

10. 議 事

 第1号議案 令和3年度収支決算について

 第2号議案 役員（理事）の選任について

11. 議長退任

12. 事務連絡

13. スローガン唱和

14. 閉会のことば

令和4年5月9日

公益社団法人長泉町シルバー人材センター
理事長 高橋 忠 昭 様

公益社団法人長泉町シルバー人材センター

監事 関 知 典 ㊟

監事 平 川 聡 ㊟

(原本は、署名押印済みです。)

私たち監事は、公益社団法人長泉町シルバー人材センターの令和3年度における会計及び業務の監査を行いました。その方法及び結果について次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 公益社団法人長泉町シルバー人材センターの令和3年度の事業報告及びその附属明細書の内容は真実であり、法令及び定款に違反する重大な事実はないと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

(2) 計算書類及びその附属明細書監査結果

公益社団法人長泉町シルバー人材センターの令和3年度の計算書類及びその附属明細書は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準に準拠しており、公益社団法人長泉町シルバー人材センターの正味財産増減の状況及び財政状態を適正に表示しているものと認めます。

報告事項

令和3(2021)年度事業報告

令和3(2021)年度公益社団法人長泉町シルバー人材センター事業報告について、
定款第36条第2項の規定により報告する。

令和4(2022)年 6月24日提出

公益社団法人長泉町シルバー人材センター
理事長 高橋 忠 昭

令和3（2021）年度事業報告

出生率の低下に伴い労働人口が減少し、超高齢化社会が進展する現状の中で、我が国の社会経済の活力を維持するためには、生涯現役を目標とし、できるだけ多くの高齢者が健康で活躍、貢献することが肝要となってきております。シルバー人材センターは、その一端を担う組織として、果たすべき役割はますます重要なものとなっております。

しかしながら、年金支給年齢の段階的引き上げや新型コロナ感染拡大に伴う雇用情勢の悪化など、60代の新規会員の加入環境は大変厳しい状況にあります。

こうした中で、当センターでは、組織運営においても事業実施においても公益法人としての役割を強く意識し、適正就業の推進、就業機会の拡大のための積極的な活動に努め、安全就業の徹底を図りつつ、植木剪定や草刈り講習などの技能や実習を必要とする後継者育成にも力を注ぎました。

令和3年度末現在では

会 員 数	334人	賛助会員	23会員
就業実人員	請負237人	派遣47人	合計284人
	(請負と派遣を重複して就業している場合、派遣を減員しています。)		
就 業 率	85.0%	就業延人数	31,279人

会員数は、昨年と同数でしたが、コロナ禍で休業が増えた事により派遣、請負事業とも減少して前年よりも事業実績が1千17万円減の1億7千605万円となりました。

会員の加入促進のため、地域の各店舗等から会員が各種サービスの提供を受けることが出来る「得々ガイド」の発行や、年度中途入会者の会費の減額を令和3年10月から始めました。

また、当センターでは、事業情報の要である会報『いぶしぎん』の発行やホームページ、フェイスブック、町の『広報ながいずみ』の活用等を通し、広報活動に力を入れております。

「安全は全てに優先する」という考えの基に、就業中や就業途上等の事故防止のため、安全委員会が中心となり安全パトロールを実施し、蜂の抗体検査の実施やエピペンを所持して、ショック死を防ぐ等の種々な安全対策を実行いたしました。

今後とも、シルバー人材センターの理念である「自主・自立、共働・共助」の精神をモットーに役職員と会員が連携を図り、更に関係機関のご支援を得ながら地域社会のニーズに応えられる事業展開をしてまいります。

以下、令和3年度事業実施状況について報告いたします。

1 組織の拡大強化

毎月20日と第一土曜日に入会説明会を実施して入会機会の増加に努め、会報『いぶしぎん』や町の『広報ながいずみ』等にもシルバー人材センターの業務内容と会員募集を掲載し、町内へのPRや会員からの紹介活動を実施いたしました。結果的に新規入会者数は、昨年度の35人から6人増加して41人となりましたが、退会者が41人いたため、会員総数は前年と同人数の334名でした。

「新入会員拡大の推進に関する報奨制度」を利用した入会者は7人に止まりましたが、仮登録制度により登録している方の内29人が会員となりました。また、永続的会員の確保のため、会員のみが地元商店等から受けることが出来るサービスをまとめた『得々ガイド』を令和3年4月に創刊することができました。今後は、参画していただく店舗を更に増やしていき、会員に確保につなげていければと期待しています。

2 事業実績

コロナ禍で経済情勢が厳しい中、受託事業の維持と派遣事業への切り替えに努力しました。

請負の事業収入は1億2千563万円余りで、前年度に比べて6.5%減、金額で867万円減となり、派遣事業については5千41万円で、前年度に比べ2.9%150万円の減となり、合計では5.5%1千17万円減の1億7千605万円となりました。

また、請負の就業延人員は23,584人で、前年度に比べ2,590人減少、派遣事業の就業延人員7,636人を加えると31,220人で合計では2,276人の減となりました。

事務費は791万円で63万円の減、派遣手数料は456万円で14万円の減、合計では1千247万円で77万円の減となりました。

3 広報活動

シルバー人材センターの事業内容及び活動状況等を掲載した会報『いぶしぎん』を2回発行し、各区や関係者の協力を得て町内回覧を行いました。また、『事務局だより』を3回発行し、各講習会や行事の案内、事務局からのお願いや、コロナワクチン予約の代行申請、ワクチン接種の副作用についてもお知らせしました。

ホームページから、常に最新の情報が閲覧でき、入会受付もホームページから出来るようになり、フェイスブックも開始しました。育成講習受講者に長泉版の入会説明会用DVDを視聴して頂き、仮登録するとともにシルバー組織の理解促進に役立てました。

4 就業機会の拡大、就業開拓

コロナ禍で、就業機会の拡大が望めない中、既存受託事業の維持に力点を置き、欠員が生じ際には、仮登録会員を紹介する等対処し、欠員を生じさせないよう就業機会の維持に努めました。

また、軽作業の就業開拓として、封入封緘作業や選挙公報配布の作業も実施することができました。

5 講習会、研修会等

(1) 主催した会員講習会等

① 入会説明会及び講習会時の入会説明

入会の希望者に対して毎月20日と第一土曜日に説明会を開催し、各種講習会で入会説明を行い、仮登録や本登録をして頂きました。

入会説明会及び講習会出席者の内

新規仮登録者 56人 年度末仮登録者 69人

3年度入会者 29人

② 交通安全講習会

新型コロナウイルス感染防止の為講習会は中止となりました。

③ 独自事業

○リフォームひまわり 延 223人 276,610円

○木工班 延 48人 5,500円

○篆刻講習 開催 27回

参加者 延 63人

○フラワーアレンジメント講習

開催 12回

参加者 延 58人

④ 植木剪定技能講習（県講習）

- ・植木剪定講習 令和3年9月27日～10月1日（5日間）
加々見園 5人受講（会員1人 非会員4人）

⑤ 刈払機講習（県講習）

- ・静岡県フォークリフト講習センター 令和3年10月19、20日
- ・やまびこジャパン 9人受講（会員3人 非会員6人）

⑥ 家事援助スタッフ講習（県講習）

- ・アイケアセンター 令和3年12月17日
- 7人受講（会員4人 非会員3人）

⑦ 清掃スタッフ講習（県講習）

- ・(株)誠和 令和3年11月30日
- 8人受講（会員0人 非会員8人）

⑧ 駐車場スタッフ養成講習（県講習）

- ・(株)ミトモコーポレーション 令和4年1月21日
- 14人受講（会員13人 非会員1人）

(2) 役職員等会議研修会

4月15日	東部ブロック事務局長会議	伊豆の国市
4月22日	県シ連事務局長会議	静岡市
6月2日	東海シ連総会（委任状提出）	鳥羽市
6月25日	県シ連総会（書面表決）	静岡市
8月5日	派遣元責任者講習	静岡市

9月29日、10月6、13、14日	子育て支援研修（会員1人）	静岡市
10月18日	県シ連事務局長会議	静岡市
12月7日	県シ連 役員等研修会	静岡市
1月21日	東部ブロック経理職員研修会	伊豆の国市
3月7日	東部ブロック事務局長・業務職員合同研修	伊豆の国市

6 地域社会奉仕活動

(1) ボランティア町内一斉美化活動

10月16日 会員宅から役場第3駐車場までごみ拾い 参加34人

(2) 桜堤遊歩道の清掃ボランティアとウォーキング

桜堤遊歩道をウォーキングしながら、ごみ拾い等の清掃ボランティア活動として、毎月1回第3水曜日に実施。（清掃用具は事務所に用意）

12回 〈参加者〉 146人

(3) 長泉中学校あったか体験学習へのボランティア講師

11月11日に、木工班1名がロープワークの講師として参加しました。

7 会議関係

(1) 総会

第10回定時総会（書面表決）

開催日時 令和3年6月25日（金）9：00～

開催場所 長泉町シルバーワークプラザ 2階

出席会員数 271人（うち議決権行使書による書面表決者249人）

会員数 328人 合計出席率 82.6%

第1号議案 令和2年度収支決算

第2号議案 役員（理事・監事）の選任

第3号議案 会員会費規程の一部改正

(2) 理事会

第1回 令和3年5月17日

第1号 令和3年度定時総会の日程、場所等

第2号 令和2年度監査報告

第3号 令和2年度事業報告承認（総会報告事項）

第4号 令和2年度収支決算承認（総会第1号議案）

第5号 令和3年度役員を選任（総会第2号議案）

臨時理事会 令和3年6月25日

第1号 代表理事、常任理事の選出

第2回 令和3年7月26日

第1号 専門部会の構成

報告事項（インボイス制度対応蜂の抗体検査実施等）

第3回 令和3年9月27日

報告事項のみ（町内一斉清掃ボランティア、会員相談の実施他）

- 第4回 令和3年11月29日
報告事項のみ（永年在籍会員表彰式、訪問居宅型事保育事業の休止
ふれあい文化祭実施の可否判断他）
- 第5回 令和4年1月18日
第1号 役員賠償責任保険継続加入
第2号 令和4年度定時総会の日程、場所及び目的事項決定
第3号 理事監事候補者選考委員会委員の選出
- 第6回 令和4年3月24日
第1号 職員給与規程の一部改正
第2号 資産取得資金の積立
第3号 令和4年度事業計画
第4号 令和4年度収支予算
第5号 令和4年度総会の日程

(3) 各部会等

① 総務部会

3月16日 職員給与規程改正、総会の開催方法

② ふれあい文化祭実行委員会 1月11日 実施可否の決定（2/7判断）

(4) 業務執行状況及び会計監査

○令和2年度分会計及び業務監査（当センター監事） 令和3.5.10

(5) 地域班長会

- 第1回 R3.5.24
- ・定時総会（書面表決）
 - ・役員改選
 - ・地域懇談会中止
 - ・秋の研修旅行

8 安全活動の状況

(1) 安全委員会

- 第1回 R3.12.23
令和3年度事故発生状況
令和4年度の安全就業実施計画
- 第2回 R4.2.25
優良職場表彰制度について
全シ協 安全就業指導者研修（動画視聴による）

(2) 安全就業パトロール

一般家庭、企業、公共施設の草刈、草取り、剪定作業現場を巡回し、ヘルメット、安全ベルトの着用、作業時の服装、脚立の掛け方等についてチェックし、会員の安全就業状況を確認しました。

R3.11.24 1箇所

(3) 職員による日常パトロール R3.4～R4.3 90箇所

(4) 安全適正就業推進研修会
東部研修会 東部各SCの取組意見交換 R3.9.7 ZOOM会議2人参加。

(5) 蜂の抗体検査とショック緩和剤エピペンの所持
過去に蜂刺されにより抗体ができている場合、再度の蜂刺されによりアナフィラキシーショックで、数分から数十分で呼吸困難等、重篤な症状を起こす事があるため、このような状態を回避する目的で、植木、草刈り会員は、抗体検査とショックの緩和剤の注射器(エピペン)を所持する事としました。
2年度から配分金の単価を30円/時間、引上げを行いこの費用を賄う事としましたが、初回はシルバーで5000円/人を負担する事とした。
尚、4年度からは草取り会員も対象にする予定です。

検査実施日 4月21～5月19日 32人 シルバーの負担額 20,000円

(6) 植木剪定の剪定可能な樹高の周知
令和3年4月から、幹の天端4m以上の剪定ができなくなった為、受注時及び予約票送付時に周知し会員の安全確保にお客様のご理解をお願いした。

(7) 熱中症対策
8月7～17日の11日間パッカー車によるごみ回収を休み、併せて植木、草刈り、草取り作業も原則休みとした。
受注時に直接お客様にお申し、夏季期間中の休憩回数の確保と水分補給に理解をお願いした。又、WBGT値(暑さ指数)31℃以上はパトロールとショートメールで危険回避を徹底した。

(8) 安全就業の徹底
安全対策は、就業中や就業途上の交通事故等の事故防止のため安全パトロールや、会報「いぶしぎん」などによる啓蒙、夏季猛暑時には、巡回活動を行い熱中症対策に努め、事故ゼロを目指してまいりました。
令和3年度の事故は11件で前年度と比べて6件増加しました。事故種別は次表のとおりです。

令和3年度 月別事故状況

種別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
傷害	0	0	1	1	1	0	1	1	0	0	2	0	7
物損	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4
交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	3	2	1	1	1	1	0	0	2	0	11

【内訳】：傷害事故：屋外軽作業中の事故2件 屋内軽作業中の事故1件
剪定作業中の事故4件

物損事故：草刈り中の飛石事故2件 植木剪定時の事故2件

(9) 全会員に対して「健康状況調査」を実施して、健康状態の把握に努めた。

(10) 植木、草刈り、草取り予約制の導入

2年度から、繁忙期における会員の負担軽減と、就業の均一化を目的に、過去2年間の受注実績のあるお客様に、事前予約のための「予約依頼書」を1月14日に送付、3月1日までに受注を受け付けた。併せてアンケートを同封して、お客様と会員の情報共有を図った。

(予約状況)

令和3年度分	植木剪定	221件	草刈り	36件	草取り	33件
--------	------	------	-----	-----	-----	-----

令和4年度分	植木剪定	224件	草刈り	34件	草取り	70件
--------	------	------	-----	-----	-----	-----

(アンケート結果全体)

令和2年度の仕事の作業結果に、満足・やや満足と回答した人 86%

9 地域懇談会 新型コロナ感染防止の為、中止とした。

10 地域社会行事等参加

新型コロナ感染防止の為、全てのイベントが中止となりました。

11 会員研修旅行

新型コロナ感染防止の為、中止とした。

12 シルバー派遣事業

法令遵守に基づく適正就業の推進により、派遣就業実人員は、昨年から2人減少して67人となり、全体の就業実人員284人の内、派遣が23.6%を占めました。

(1) 前年比実績

派遣事業所10社(前年9) 就業延人数 7,636人(前年7,322)

就業実人数67人(前年69) 派遣契約実績 50,410,797円(前年51,906,933)

※就業実人員の内請負との重複は220人

(2) キャリアアップ研修

就業から9か月以上の派遣を対象に行うキャリアアップ研修を3回に分けて開催した。

1月7、13、18日 「職場のコミュニケーションをよくする」

講師 産業カウンセラー池田貞夫氏 参加42人

13 コロナワクチン予約の代行申請

コロナワクチン接種の第1回目の予約が、4月30日から行われましたが、電話が繋がらない等、予約が取りにくい状況が続いたため5月24日からシルバー会員がパソコンで予約の代行申請をするサービスを開始しました。

予約に来た人 52人

令和3年度事業報告 附属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項」に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

会員の現況

令和4年3月末現在

会員の年齢別構成表

年齢（歳）	男性	女性	合計	構成比
～59	0	0	0	0.0%
60～64	1	7	8	2.4%
65～69	22	20	42	12.6%
70～74	69	51	120	35.9%
75～79	57	30	87	26.0%
80～	44	33	77	23.1%
合計	193	141	334	100%
構成比	57.8%	42.2%	100%	

会員の平均年齢

男性	女性	合計
76.1歳	75.0歳	75.6歳

会員の最高年齢

男性	女性
92歳	89歳

会員入退会状況

区分	入 会		退 会		合 計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
期初会員数					194	140
期中入退会	19	22	20	21	-1	1
期末会員数					193	141
期初会員334名	入 会	41名	退 会	41名	総会員数	334名

退会者理由別人員

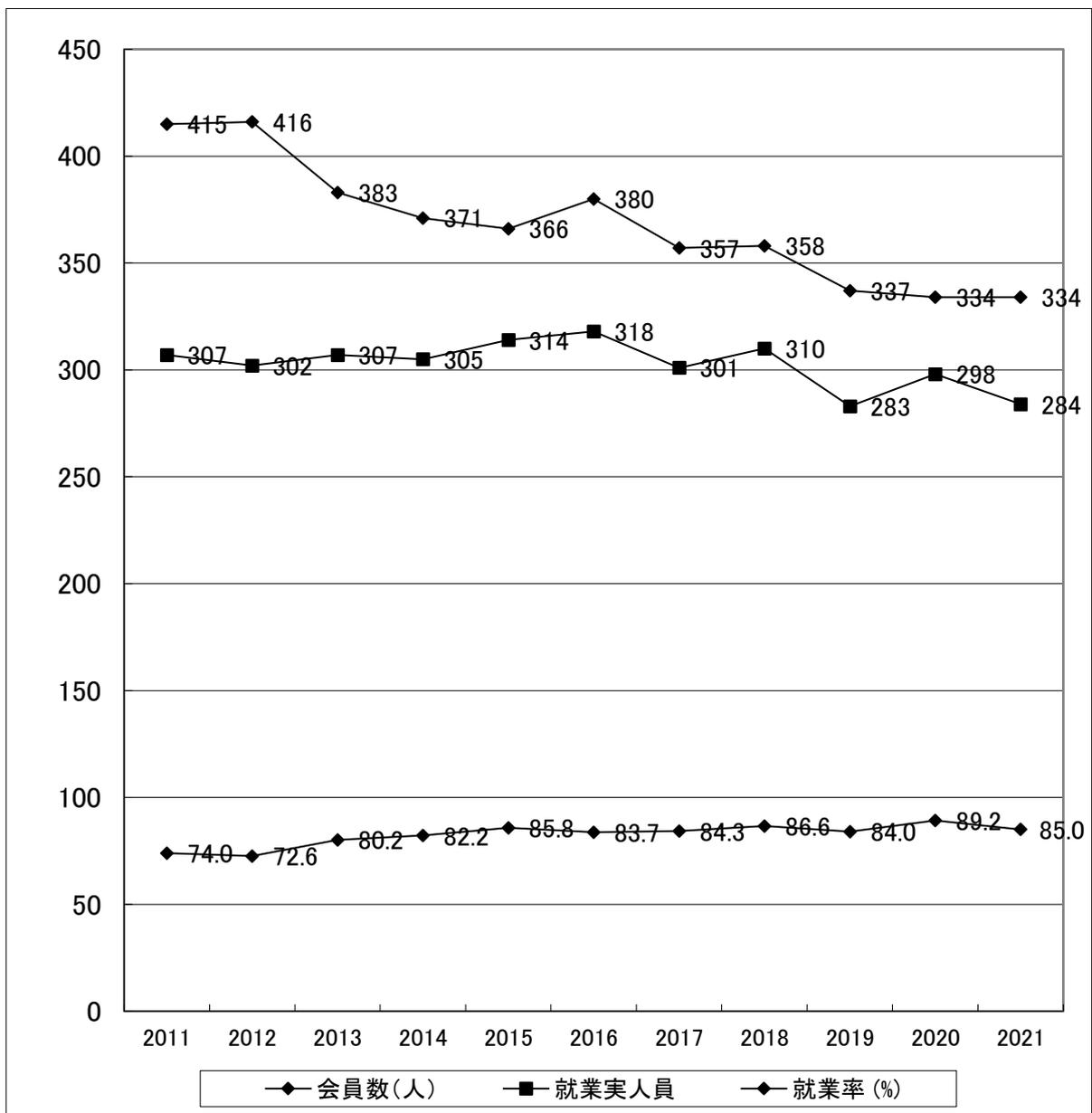
区分	男性	女性	合計
病気のため	5	7	12
就職のため	1	1	2
死亡のため	2	2	4
仕事がない	2	4	6
家庭の事情	2	3	5
加齢	2	1	3
その他	7	2	9
合計	21	20	41

在会期間別会員数

区分	男性	女性	合計
1年未満	19	21	40
1年～2年未満	19	13	32
2年～4年未満	25	12	37
4年～6年未満	22	18	40
6年～8年未満	16	17	33
8年～10年未満	21	13	34
10年以上	71	47	118
合計	193	141	334

年度別 会員数、就業率推移

平成令和	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3
西暦	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
会員数(人)	415	416	383	371	366	380	357	358	337	334	334
就業実人員	307	302	307	305	314	318	301	310	283	298	284
就業率(%)	74.0	72.6	80.2	82.2	85.8	83.7	84.3	86.6	84.0	89.2	85.0



平成3(2021)年度 月別事業実績(1)

月	会員数	請 負									
		就業 実人員	就業率	事業	受託件数	就業延人員	契 約 金 額			合計	累計
							配分金	材料費等	事務費		
4	337			公	19	435	1,968,432	108,149	155,835	2,232,416	2,232,416
	333	178	53.5%	民	177	1,554	6,401,399	307,217	477,613	7,186,229	7,186,229
				計	196	1,989	8,369,831	415,366	633,448	9,418,645	9,418,645
5				公	29	560	2,624,369	495,537	205,612	3,325,518	5,557,934
	330	192	58.2%	民	208	1,650	7,042,737	724,842	526,387	8,293,966	15,480,195
				計	237	2,210	9,667,106	1,220,379	731,999	11,619,484	21,038,129
6				公	35	602	3,107,132	535,166	243,859	3,886,157	9,444,091
	326	188	57.7%	民	216	1,679	7,060,215	697,038	518,879	8,276,132	23,756,327
				計	251	2,281	10,167,347	1,232,204	762,738	12,162,289	33,200,418
7				公	38	600	3,115,781	567,194	244,620	3,927,595	13,371,686
	326	182	55.8%	民	191	1,542	6,836,836	627,200	507,038	7,971,074	31,727,401
				計	229	2,142	9,952,617	1,194,394	751,658	11,898,669	45,099,087
8				公	29	492	2,473,980	349,839	194,448	3,018,267	16,389,953
	329	176	53.5%	民	179	1,469	6,705,145	822,423	492,290	8,019,858	39,747,259
				計	208	1,961	9,179,125	1,172,262	686,738	11,038,125	56,137,212
9				公	41	586	3,267,359	831,556	254,411	4,353,326	20,743,279
	331	158	47.7%	民	210	1,548	6,458,946	1,603,772	473,166	8,535,884	48,283,143
				計	251	2,134	9,726,305	2,435,328	727,577	12,889,210	69,026,422
10				公	35	557	2,698,406	386,212	212,338	3,296,956	24,040,235
	336	180	53.6%	民	204	1,724	7,891,459	1,000,092	587,303	9,478,854	57,761,997
				計	239	2,281	10,589,865	1,386,304	799,641	12,775,810	81,802,232
11				公	25	514	2,574,398	372,966	201,971	3,149,335	27,189,570
	339	167	49.3%	民	180	1,517	6,650,156	501,738	487,152	7,639,046	65,401,043
				計	205	2,031	9,224,554	874,704	689,123	10,788,381	92,590,613
12				公	26	443	2,107,645	246,931	165,585	2,520,161	29,709,731
	342	179	52.3%	民	179	1,400	6,323,525	528,308	465,941	7,317,774	72,718,817
				計	205	1,843	8,431,170	775,239	631,526	9,837,935	102,428,548
1				公	24	434	2,227,600	353,073	173,522	2,754,195	32,463,926
	346	168	48.6%	民	109	1,052	4,427,240	404,679	323,769	5,155,688	77,874,505
				計	133	1,486	6,654,840	757,752	497,291	7,909,883	110,338,431
2				公	19	353	1,779,241	206,956	138,393	2,124,590	34,588,516
	343	147	42.9%	民	136	1,165	4,343,365	277,051	318,697	4,939,113	82,813,618
				計	155	1,518	6,122,606	484,007	457,090	7,063,703	117,402,134
3				公	28	504	2,361,510	325,002	186,346	2,872,858	37,461,374
	334	175	52.4%	民	111	1,204	4,829,862	170,070	359,408	5,359,340	88,172,958
				計	139	1,708	7,191,372	495,072	545,754	8,232,198	125,634,332
計				公	348	6,080	30,305,853	4,778,581	2,376,940	37,461,374	
	334	237	71.0%	民	2,100	17,504	74,970,885	7,664,430	5,537,643	88,172,958	
				計	2,448	23,584	105,276,738	12,443,011	7,914,583	125,634,332	
月 平 均				公	29	507	2,525,488	398,215	198,078	3,121,781	
				民	175	1,459	6,247,574	638,703	461,470	7,347,747	
				計	204	1,965	8,773,062	1,036,918	659,549	10,469,528	

民間・・・企業+家庭+独自

令和3(2021)年度 月別事業実績(2)

月	派遣			派遣+請負		
	就業実人員	就業延人員	契約金額	就業実人員合計	就業延人員合計	契約金額合計
4					435	2,232,416
	55	597	4,187,129	233	2,151	11,373,358
					2,586	13,605,774
5					560	3,325,518
	55	554	3,692,395	247	2,204	11,986,361
					2,764	15,311,879
6					602	3,886,157
	55	633	4,306,331	243	2,312	12,582,463
					2,914	16,468,620
7					600	3,927,595
	56	654	4,410,716	238	2,196	12,381,790
					2,796	16,309,385
8					492	3,018,267
	56	581	3,999,496	232	2,050	12,019,354
					2,542	15,037,621
9					586	4,353,326
	56	554	3,517,789	214	2,102	12,053,673
					2,688	16,406,999
10					557	3,296,956
	57	766	4,531,596	237	2,490	14,010,450
					3,047	17,307,406
11					514	3,149,335
	62	700	4,616,124	229	2,217	12,255,170
					2,731	15,404,505
12					443	2,520,161
	61	684	4,591,640	240	2,084	11,909,414
					2,527	14,429,575
1					434	2,754,195
	60	614	4,061,987	228	1,666	9,217,675
					2,100	11,971,870
2					353	2,124,590
	59	545	3,652,836	206	1,710	8,591,949
					2,063	10,716,539
3					504	2,872,858
	60	754	4,842,758	235	1,958	10,202,098
					2,462	13,074,956
(派遣実人員)	67				6,080	37,461,374
計(注1)	47	7,636	50,410,797	284	25,140	138,583,755
		7,636	50,410,797	85.0%	31,220	176,045,129
月 平 均	公				507	3,121,781
	民	636	4,200,900		2,095	11,548,646
	計	636	4,200,900		2,602	14,670,427

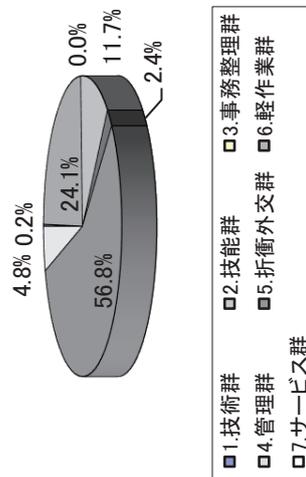
(注1)派遣の実人員計は、派遣実人員数から請負を重複して就業している人数を引いてあります。

職群別・公共民間別事業実績

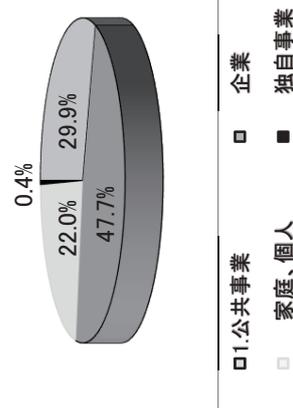
令和3(2021)年4月1日～令和4(2022)年3月31日

事項及び区分	受注件数	就業延人員	契約金額				合計	金額比率
			配分金	材料費等	事務費	合計		
1.技術群	2	37	57,412	171,610	4,588	233,610	0.2%	
2.技能群	653	3,707	21,630,151	6,968,242	1,618,851	30,217,244	24.1%	
3.事務整理群	2	8	8,272	0	88	8,360	0.0%	
4.管理群	14	2,669	13,153,823	531,053	1,029,804	14,714,680	11.7%	
5.折衝外交群	5	738	2,760,402	0	220,793	2,981,195	2.4%	
6.軽作業群	652	14,502	62,843,572	3,893,242	4,674,637	71,411,451	56.8%	
7.サービス群	58	1,923	4,823,106	878,864	365,822	6,067,792	4.8%	
合計	1,386	23,584	105,276,738	12,443,011	7,914,583	125,634,332	100.0%	
公共	161	6,080	30,305,853	4,778,581	2,376,940	37,461,374	29.9%	
民間	1,225	17,504	74,970,885	7,664,430	5,537,643	88,172,958	70.1%	
企業	241	12,395	51,398,062	4,562,277	4,003,168	59,963,507	47.7%	
家庭、個人	979	4,842	23,252,712	2,929,488	1,510,131	27,692,331	22.0%	
独自事業	5	267	320,111	172,665	24,344	517,120	0.4%	
合計	1,386	23,584	105,276,738	12,443,011	7,914,583	125,634,332	100.0%	

職群別比較グラフ

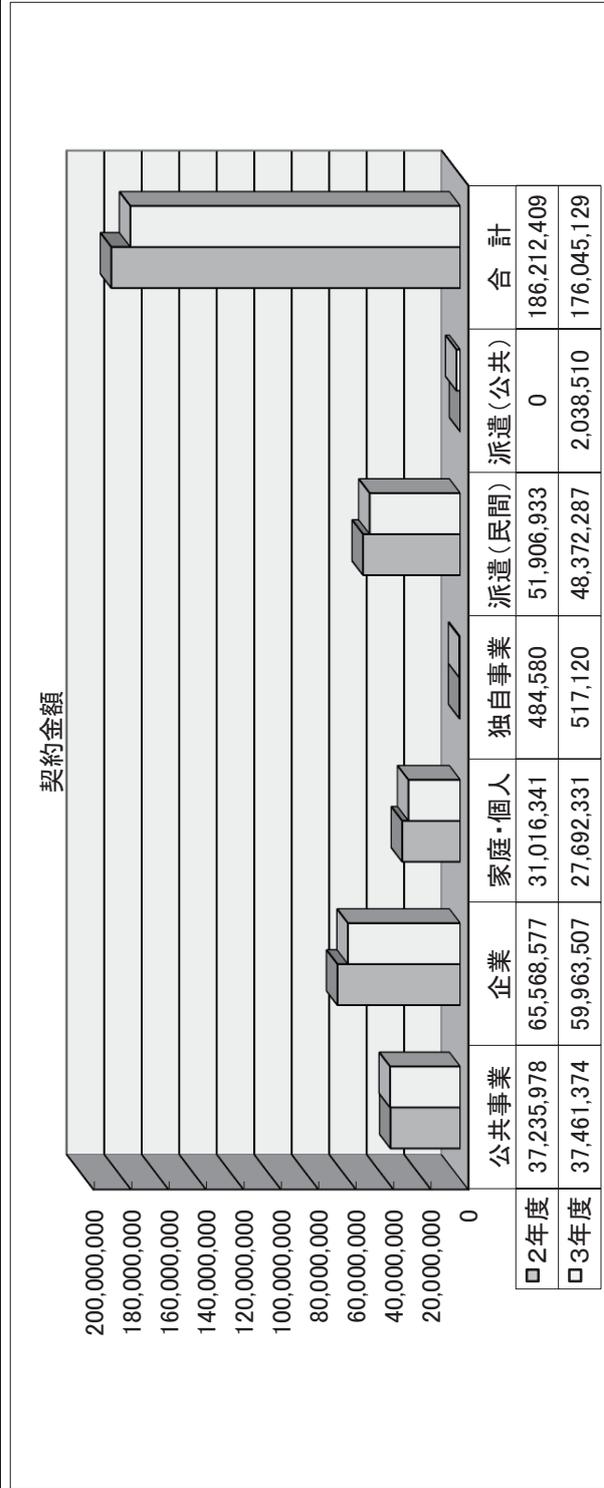


業別比較グラフ



契約高前年度(2020:2021)対比

区分	就業延人員			受注件数			契約金額 (単位:円)		
	2年度	3年度	前年対比	2年度	3年度	前年対比	2年度	3年度	前年対比
公共事業	6,155	6,080	98.8%	177	161	91.0%	37,235,978	37,461,374	100.6%
民間事業	20,019	17,504	87.4%	1,261	1,225	97.1%	97,069,498	88,172,958	90.8%
企業	14,112	12,395	87.8%	256	241	94.1%	65,568,577	59,963,507	91.5%
家庭・個人	5,617	4,842	86.2%	1,000	979	97.9%	31,016,341	27,692,331	89.3%
独自事業	290	267	92.1%	5	5	100.0%	484,580	517,120	106.7%
派遣(民間)	7,322	7,301	99.7%	19	19	100.0%	51,906,933	48,372,287	93.2%
派遣(公共)	0	335	-	0	1	-	0	2,038,510	-
合計	33,496	31,220	93.2%	1,457	1,406	96.5%	186,212,409	176,045,129	94.5%



賛助会員名簿

令和4(2022)年3月31日（順不同・敬称略）

賛助会員名	所在地
コイト電工(株) 富士長泉工場	長泉町南一色
富士伊豆農業協同組合 長泉支店	〃 下土狩
帝人(株) 三島事業所	〃 上土狩
東レ(株) 三島工場	三島市
特種東海製紙(株)	長泉町本宿
長泉町商工会	〃 下土狩
日商産業(株)	〃 東野
深澤電工(株)	〃 桜堤
三島信用金庫 下土狩支店	〃 下土狩
(株)山口製作所	沼津市足高
(株)不二精機製造所	長泉町下土狩
(有)井出園芸	〃 元長窪
(株)山本	〃 下土狩
長泉環境(株)	〃 本宿
(株)スワベ商会	〃 下土狩
(株)三島ダイハツ	〃 下土狩
山一金属(株)	〃 本宿
西島農機	〃 納米里
三島燃料(株)	〃 下土狩
大静高圧(株)	〃 本宿
(株)共同開発	〃 下土狩
(株)米山製作所	〃 納米里
杉山 清策	〃 下土狩

第1号議案

令和3(2021)年度収支決算について

令和3(2021)年度公益社団法人長泉町シルバー人材センター収支決算について、
定款第36条第2項の規定により承認を求める。

令和4(2022)年 6月24日提出

公益社団法人長泉町シルバー人材センター
理事長 高橋 忠昭

貸借対照表

令和 4(2022)年 3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	88,163	88,863	△ 700
当座預金	9,593,012	1,895,683	7,697,329
普通預金	2,205,051	13,593,305	△ 11,388,254
未収金	10,473,626	11,128,292	△ 654,666
仮払金	0	0	0
立替金	10,000	9,000	1,000
前払金	0	0	0
流動資産合計	22,369,852	26,715,143	△ 4,345,291
2. 固定資産			
(1) 基本財産			0
減価償却引当資産	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	0	0	0
減価償却引当資産	2,182,273	1,072,673	1,109,600
固定資産取得積立資産	4,973,070	1,317,814	3,655,256
財政運営資金積立資産	0	0	0
特定資産合計	7,155,343	2,390,487	4,764,856
(3) その他固定資産			
土地	0	0	0
建物	0	0	0
構築物	0	0	0
車輛運搬具	1,157,539	140,141	1,017,398
什器備品	173,981	82,659	91,322
出資金	10,000	10,000	0
電話加入権	224,224	224,224	0
敷金	0	0	0
保証金	0	0	0
預託金	69,870	58,130	11,740
その他固定資産合計	1,635,614	515,154	1,120,460
固定資産合計	8,790,957	2,905,641	4,839,812
資産合計	31,160,809	29,620,784	1,540,025
II 負債の部			
1. 流動負債			0
未払金	8,820,195	9,511,828	△ 691,633
前受金	483,591	426,101	57,490
預り金	381,020	176,426	204,594
仮受金	0	0	0
短期借入金	0	0	0
流動負債合計	9,684,806	10,114,355	△ 429,549
2. 固定負債			0
退職給付引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	9,684,806	10,114,355	△ 429,549
III 正味財産の部			0
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	21,476,003	19,506,429	1,969,574
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(7,155,343)	(2,390,487)	(4,764,856)
正味財産合計	21,476,003	19,506,429	1,969,574
負債及び正味財産合計	31,160,809	29,620,784	1,540,025

正味財産増減計算書

令和3(2021)年 4月 1日から令和4(2022)年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	125,341,307	134,391,841	△ 9,050,534
受取配分金	104,975,810	112,035,260	△ 7,059,450
受取材料費等	12,450,914	13,809,222	△ 1,358,308
受取事務費	7,914,583	8,547,359	△ 632,776
施設管理委託収益	755,000	755,000	0
施設管理委託収益	755,000	755,000	0
労働者派遣事業等受託収益	4,555,326	4,693,148	△ 137,822
労働者派遣事業等受託収益	4,555,326	4,693,148	△ 137,822
有料職業紹介事業受託収益	92,347	34,497	57,850
有料職業紹介事業受託収益	92,347	34,497	57,850
独自事業収益	297,133	0	297,133
受取配分金	297,133	0	297,133
受取会費	869,000	881,000	△ 12,000
正会員受取会費	674,000	686,000	△ 12,000
賛助会員受取会費	195,000	195,000	0
受取補助金等	27,000,000	27,224,880	△ 224,880
受取連合交付金	13,500,000	13,500,000	0
受取(町)補助金	13,500,000	13,724,880	△ 224,880
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
特定資産運用益	21	107	△ 86
特定資産受取利息	21	107	△ 86
雑収益	10,898	4,343	6,555
受取利息	73	43	30
雑収益	10,825	4,300	6,525
経常収益計	158,921,032	167,984,816	△ 9,063,784
(2) 経常費用			
事業費	154,458,927	159,664,255	△ 5,205,328
支払配分金	105,276,738	112,035,260	△ 6,758,522
支払材料費等	11,071,092	11,192,573	△ 121,481
給料手当	3,587,999	7,385,904	△ 3,797,905
臨時雇賃金	962,671	0	962,671
法定福利費	3,216,436	3,393,565	△ 177,129
退職給付費用	1,870,032	1,373,472	496,560
福利厚生費	62,998	75,473	△ 12,475
会議費	0	0	0
旅費交通費	199,620	205,200	△ 5,580
通信運搬費	656,397	699,806	△ 43,409
減価償却費	1,109,600	201,918	907,682
消耗什器備品費	95,494	123,500	△ 28,006
消耗品費	620,212	812,144	△ 191,932
修繕費	185,724	189,086	△ 3,362
印刷製本費	377,700	456,500	△ 78,800
光熱水料費	601,705	581,181	20,524
賃借料	1,525,186	1,601,285	△ 76,099
保険料	1,584,946	1,529,771	55,175
諸謝金	17,301,721	14,750,174	2,551,547
租税公課	1,594,892	668,543	926,349
支払負担金	46,500	0	46,500
委託費	2,483,413	2,247,791	235,622
教材費	0	0	0
支払手数料	7,851	4,339	3,512
雑費	20,000	136,770	△ 116,770
管理費	2,492,531	2,396,915	95,616
給料手当	426,527	426,211	316
臨時雇賃金	0	0	0

正味財産増減計算書

令和3(2021)年 4月 1日から令和4(2022)年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
法定福利費	84,631	70,184	14,447
退職給付費用	38,424	34,914	3,510
福利厚生費	44,373	42,767	1,606
会議費	34,540	271,430	△ 236,890
旅費交通費	277,820	269,420	8,400
通信運搬費	107,113	65,042	42,071
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	5,026	0	5,026
消耗品費	40,116	23,381	16,735
修繕費	990	0	990
印刷製本費	155,100	135,300	19,800
光熱水料費	31,668	14,304	17,364
賃借料	60,818	64,516	△ 3,698
保険料	53,714	53,752	△ 38
諸謝金	0	0	0
租税公課	12,375	9,145	3,230
支払負担金	395,910	484,010	△ 88,100
委託費	494,168	423,684	70,484
支払手数料	43,363	3,855	39,508
雑費	185,855	5,000	180,855
経常費用計	156,951,458	162,061,170	△ 5,109,712
評価損益等調整前当期経常増減額	1,969,574	5,923,646	△ 3,954,072
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,969,574	5,923,646	△ 3,954,072
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	9,999	△ 9,999
車両運搬具売却益	0	9,999	△ 9,999
経常外収益計	0	9,999	△ 9,999
(2) 経常外費用			0
固定資産除却損	0	0	0
過年度損失修正	0	1	△ 1
過年度損失修正	0	0	0
固定資産過年度損失修正	0	1	△ 1
経常外費用計	0	1	△ 1
当期経常外増減額	0	9,998	△ 9,998
当期一般正味財産増減額	1,969,574	5,933,644	△ 3,964,070
一般正味財産期首残高	19,506,429	13,572,785	5,933,644
一般正味財産期末残高	21,476,003	19,506,429	1,969,574
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	21,476,003	19,506,429	1,969,574

正味財産増減計算書内訳表

令和3(2021)年 4月 1日から令和4(2022)年 3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	シルバー人材センター事業		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	123,283,276	2,058,031	125,341,307
受取配分金	104,975,810	0	104,975,810
受取材料費等	12,450,914	0	12,450,914
受取事務費	5,856,552	2,058,031	7,914,583
施設管理委託収益	755,000	0	755,000
施設管理委託収益	755,000	0	755,000
労働者派遣事業等受託収益	4,555,326	0	4,555,326
労働者派遣事業等受託収益	4,555,326	0	4,555,326
有料職業紹介事業受託収益	92,347	0	92,347
有料職業紹介事業受託収益	92,347	0	92,347
独自事業収益	297,133	0	297,133
受取配分金	297,133	0	297,133
受取会費	434,500	434,500	869,000
正会員受取会費	337,000	337,000	674,000
賛助会員受取会費	97,500	97,500	195,000
受取補助金等	27,000,000	0	27,000,000
受取連合交付金	13,500,000	0	13,500,000
受取(町)補助金	13,500,000	0	13,500,000
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
特定資産運用益	21	0	21
特定資産受取利息	21	0	21
雑収益	10,898	0	10,898
受取利息	73	0	73
雑収益	10,825	0	10,825
経常収益計	156,428,501	2,492,531	158,921,032
(2) 経常費用			
事業費	154,458,927	0	154,458,927
支払配分金	105,276,738	0	105,276,738
支払材料費等	11,071,092	0	11,071,092
給料手当	3,587,999	0	3,587,999
臨時雇賃金	962,671	0	962,671
法定福利費	3,216,436	0	3,216,436
退職給付費用	1,870,032	0	1,870,032
福利厚生費	62,998	0	62,998
会議費	0	0	0
旅費交通費	199,620	0	199,620
通信運搬費	656,397	0	656,397
減価償却費	1,109,600	0	1,109,600
消耗什器備品費	95,494	0	95,494
消耗品費	620,212	0	620,212
修繕費	185,724	0	185,724
印刷製本費	377,700	0	377,700
光熱水料費	601,705	0	601,705
賃借料	1,525,186	0	1,525,186
保険料	1,584,946	0	1,584,946
諸謝金	17,301,721	0	17,301,721
租税公課	1,594,892	0	1,594,892
支払負担金	46,500	0	46,500
委託費	2,483,413	0	2,483,413
教材費	0	0	0

正味財産増減計算書内訳表

令和3(2021)年 4月 1日から令和4(2022)年 3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	シルバー人材センター事業		
支払手数料	7,851	0	7,851
雑費	20,000	0	20,000
管理費	0	2,492,531	2,492,531
給料手当	0	426,527	426,527
臨時雇賃金	0	0	0
法定福利費	0	84,631	84,631
退職給付費用	0	38,424	38,424
福利厚生費	0	44,373	44,373
会議費	0	34,540	34,540
旅費交通費	0	277,820	277,820
通信運搬費	0	107,113	107,113
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	0	5,026	5,026
消耗品費	0	40,116	40,116
修繕費	0	990	990
印刷製本費	0	155,100	155,100
光熱水料費	0	31,668	31,668
賃借料	0	60,818	60,818
保険料	0	53,714	53,714
諸謝金	0	0	0
租税公課	0	12,375	12,375
支払負担金	0	395,910	395,910
委託費	0	494,168	494,168
支払手数料	0	43,363	43,363
雑費	0	185,855	185,855
経常費用計	154,458,927	2,492,531	156,951,458
評価損益等調整前当期経常増減額	1,969,574	0	1,969,574
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,969,574	0	1,969,574
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0		0
車両運搬具売却益	0		0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
過年度損失修正	0		0
過年度損失修正	0		0
固定資産過年度損失修正	0		0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	1,969,574	0	1,969,574
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,969,574	0	1,969,574
一般正味財産期首残高	19,456,839	49,590	19,506,429
一般正味財産期末残高	21,426,413	49,590	21,476,003
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	21,426,413	49,590	21,476,003

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 会計処理の基準については、公益法人会計基準(平成20年基準)に準拠している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
減価償却資産について、定率法により直接減価償却を実施している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期残高	当期増加額	当期減少額	当期残高
特定資産				
減価償却引当資産	1,072,673	1,109,600	0	2,182,273
財政運営資金積立資産	0	0	0	0
固定資産取得積立資産	1,317,814	3,655,256	0	4,973,070
合 計	2,390,487	4,764,856	0	7,155,343

* 特定資産は一般正味財産からの充当額である。

3. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具	13,186,833	12,029,294	1,157,539
什器備品	934,970	760,989	173,981
合 計	14,121,803	12,790,283	1,331,520

4. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び債権の当期末残高

(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	10,473,626	0	10,473,626
合 計	10,473,626	0	10,473,626

5. 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
運営費補助金	国	0	13,500,000	13,500,000	0	-
運営費補助金	町	0	13,500,000	13,500,000	0	-
合計		0	27,000,000	27,000,000	0	

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載している。

財 産 目 録

令和4(2022)年3月31日現在

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	手許有高	運転資金として	88,163
当座預金	南駿農業協同組合長泉支店	運転資金として	9,593,012
普通預金	南駿農業協同組合長泉支店	運転資金として	862,533
	三島信用金庫下土狩支店	運転資金として	1,340,748
	スルガ銀行下土狩駅支店	運転資金として	1,770
未収金		公益目的事業未収金として	10,473,626
立替金		公益目的事業立替金として	10,000
前払金		公益目的事業前払金として	0
流動資産合計			22,369,852
2 固定資産			
(1) 特定資産			
減価償却引当資産	定期預金・南駿農協長泉支店	減価償却資産買換え資金として管理	2,182,273
財政運営資金積立資産	普通預金・南駿農協長泉支店	財政安定資金として管理	0
固定資産取得積立資産	普通預金・南駿農協長泉支店	固定資産を取得する資金として	4,973,070
特定資産合計			7,155,343
(2) その他の固定資産			
車両運搬具	車両 9台	公益目的保有財産であり、公益目的事業用として	1,157,539
什器備品	ショーケース1台 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業用として	173,981
出資金	三島信用金庫下土狩支店	公益目的事業用として	10,000
電話加入権	3回線	(共用財産)公益目的保有財産であり、公益目的事業用と管理運営の用に供している。	224,224
預託金		公益目的事業用として、自動車リサイクル料金	69,870
その他固定資産合計			1,635,614
固定資産合計			8,790,957
資産合計			31,160,809
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	会員	3月分配分金他	8,820,195
前受金	会員	次年度会費他前受金	483,591
預り金	社員	社会保険料等の預り金	381,020
仮受金		公益目的事業仮受金として	0
流動負債合計			9,684,806
負債合計			9,684,806
正味財産			21,476,003

第2号議案

役員（理事）の選任について

1名減となっている理事に、次の者を選任したいので定款第21条の規定により承認を求める。

なお、選任された理事の任期は、令和5年定時総会時までとする。

令和4年 6月24日提出

公益社団法人長泉町シルバー人材センター

理事長 高橋 忠昭

理事候補者

区分	氏名	新・重	住所	備考
理事	萩原 彰二	新任	新屋町下	

役員名簿

任期 令和3年6月定期総会時から令和5年6月定期総会時まで

理事・監事	氏名	住所	備考
理事長	高橋 忠昭	駅中	
副理事長	山田 幸一	納米里	
理事	松崎 雅敏	下長窪	
理事	米原 敏子	下長窪	
理事	押山 昌弘	上土狩	
理事	繁松 紀弘	池田	
理事	松井 功	東	
理事	後藤 照代	原	
理事	山口 素行	竹原	
理事	岡沢 啓造	上土狩	
理事	渡辺 秀子	中土狩	
理事	信田 知恵子	原分	
理事	山田 文和	薄原上	
監事	関 知典	南一色	
監事	平川 聡	下長窪	

職員名簿

令和4年6月1日現在

職名	氏名	
事務局長	山田 文和	総括
次長	杉山 恵美子	事務長補佐・経理担当
職員	石黒 正行	業務担当(公共)、安全委員会、保険対応、草取
職員	白畑 由美子	経理・庶務担当、広報、請負就業報告(民間)リフォーム
嘱託員	渡辺 雅仁	植木、草刈り、民間業務
臨時職員	小林 朋子	家事援助

《参考資料》

会員の保険制度加入状況

保険の種類	内 容	補償限度額
団体総合生活 保障保険	就業中の会員 死亡・後遺障害	1,400万円
	就業中の会員 入院日額	5,000円
	就業中の会員 通院日額	3,000円
	傷害医療費用	100万円
賠償責任保険	請負の相手方 身体傷害	1名 3,000万円
	請負の相手方 財物損壊	1事故 1,000万円
熱中症見舞金 制度	死亡見舞金	10万円
	入院(2泊3日以上)	5万円
	入院(1泊2日)	3万円
	通院	5,000円
サイバー保険	賠償責任	5,000万円

《 参 考 資 料 》

会 員 在 籍 3 0 年 表 彰 者 名 簿

会 員 在 籍 2 0 年 表 彰 者 名 簿

会 員 在 籍 1 0 年 表 彰 者 名 簿

令 和 4 年 度 事 業 計 画

令 和 4 年 度 収 支 予 算

部 会 ・ 委 員 会 名 簿

地 域 班 長 名 簿

職 域 班 世 話 人 名 簿

長 泉 町 シ ル バ ー 人 材 セ ン タ ー 組 織 図

安 全 心 得 1 0 ケ 条



会員在籍30年 表彰者名簿

※ 平成3年4月1日から平成4年3月31日までに入会 1名

前島 久云

(順不同・敬称略)

会員在籍20年 表彰者名簿

※ 平成13年4月1日から平成14年3月31日までに入会 4名

市野 哲也 清 克巳 小笠原 マサエ
金山 静子

会員在籍10年 表彰者名簿

※平成23年4月1日から平成24年3月31日までに入会 14名

土屋 忠	勝又 まゆみ	宮川 清司
秋山 勝	川原崎 好子	山田 チエ子
松井 透	清水 清吾	服部 元子
米島 しま江	村橋 則義	松井 功
加藤 彰	袴田 光代 (通算)	

令和4（2022）年度 事業計画

令和4年1月1日現在の65歳以上人口が3,622万人を超え、我が国の総人口の28.9%を占めることになり、長泉町も22.4%と超高齢社会に突入する時代にあって、定年制の延長や年金受給年齢の引き上げ、さらには新型コロナウイルスの発生から2年が経過しても収まらない感染拡大で、社会全体が大きく変わろうとしています。

このような中でも、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、地域の高齢者が長年培った知識・経験・技能を活かし、就業を通して健康で豊かな生活と積極的な社会参加による生きがいの充実を図ることを目的とするシルバー人材センターの存在意義、またその果たす役割は大きく、「生涯現役社会」の実現に向けた地域の担い手としてますます期待が寄せられているところです。

当センターは、昭和63年3月に事業開始以来、更なる飛躍を目指して、シルバー人材センターの最重要課題である就業機会の拡大・確保や会員の増加に積極的に取り組むとともに、当町が重点施策の柱として掲げている「高齢者支援」の施策展開を図り、公益社団法人としてより法令を遵守し、地域社会に根ざした法人として取り組んでまいります。

また、会員が求める多様な働き方に対応した雇用・就業機会を確保するため、シルバー派遣事業や新たな受託事業の開拓に努め会員の増加を図り、技能を必要とする就業においては後継者の育成を促進し、更に、会員及び役職員が一丸となって精力的に事業を展開してまいります。

1. 重点目標

(1) 会員増加と退会抑制に努力いたします。

労働者人口が減少する中、会員が減少し受注が伸びない状況が続いています。

入会しやすい環境づくりと、居心地の良い組織づくり、福利厚生等の充実により、今年度は、県が指標としている会員数344人を目標に取り組み、会員の増加を図り、会員と役職員とが力を合わせ、既存受注の定着及び拡大や新規受注の確保、介護関連事業の開拓等を図るとともに、請負業務の新規開拓に努め、会員の就業機会の確保に取り組んでまいります。

(2) 信頼されるシルバー人材センターとなるよう努めます。

会員が、技能や知識を身につけ、社会に貢献できるようワークプラザ等を利用した各種講習会・研修会を実施して知識・技能の向上を図りながら、各種ルールを徹底し、会員の能力・資質向上に努めます。また、お客様の声を把握して、そのニーズに応える誠実な仕事をしていくよう努めてまいります。

更に、ふれあい文化祭や、ボランティア活動などによる社会貢献を促進し、信頼されるシルバー人材センターになるよう努めてまいります。

(3) 基本理念である「自主・自立、共働・共助」の推進を図ります。

会員、役員、職員との連携を密にし、苦情・要望・提案など情報の共有化を図り、会員自らの意識を改革し、受注先開拓・受注作業の円滑な処理・就業機会の均衡化など、自主的・主体的な活動の推進に努めてまいります。

また、会員の安全就業・健康管理の注意を喚起し、事故“ゼロ”の実現に努めてまいります。

事業の適正な運営を期すために、行政機関・県シ連及び周辺シルバー人材センターと連携を密にし、着実かつ健全な発展に努め、地域社会に貢献してまいります。

2. 具体的な実施計画

(1) 入会しやすい環境づくり

シルバー事業の趣旨を普及し、会員増加を図るため、会報「いぶしぎん」の発行やパンフレットの配布を行うとともに、ホームページやフェイスブックでの情報発信の充実も図っていきたいと思っています。

年度途中からの入会の負担軽減のための会費減額や、仕事を見つけてから登録する「仮登録」制度も周知し、より気楽に参加できる組織になるようを目指してまいります。

(2) 永続的会員の増加

年令が高くなると仕事の継続も困難になってきますが、同じ仕事の継続ができなくても、仲間とともに一定の役割を持ち組織に留まれる施策を進めます。

具体的には、得々ガイドの発行や趣味やサークル活動の拡充、旅行など互助会活動への支援、ふれあい文化祭の実施、各種表彰の充実、ボランティア活動の推進等により、会員との触れ合いを重視し、組織に留まる人の増加を図って

いきたいと思います。

(3) 就業に関する知識、技能の向上

お客様の信頼とニーズに応えるため、会員に就業上の必要な知識・技能の向上を目的とし、各種研修会・講習会を実施いたします。

また、会員のスキルアップを図り、スマホ利用を進め、デジタル化社会に対応できる会員の育成に努めます。

(4) 安全就業の推進

シルバー就業は、会員が安全に就業できることが最優先であり、就業中の事故ゼロを目指して、次のとおり安全対策や意識の高揚、啓発に努めます。

- ① 安全委員会の開催及び安全パトロールの実施、熱中症予防など巡回活動の強化
- ② 交通安全講習会の実施
- ③ 安全就業研修会、各種技能・技術講習会等への参加
- ④ 事故原因の分析、事故防止対策の検討
- ⑤ KY（危険予知）活動の実施
- ⑥ 感染防止対策の実施
- ⑦ 衛生委員会の実施
- ⑧ 蜂刺されによるショック死防止対策（エピペンの所持）の実施
- ⑨ 表彰制度の創設 等

(5) 就業機会の開拓と確保

あらゆる機会を捉え広報活動を強化し、公共機関及び企業・一般家庭等にシルバー事業の理解を求め、短期・短時間就業であっても受けさせて頂くなど受注拡大に努めるとともに、インボイス制度導入にあたり、制度による影響を丁寧に説明し既受注先等にご理解いただけるよう努めます。さらに「スマホ講習会の講師育成」など、新たな就業機会拡大のため、役職員・会員一人ひとりが「会員一人一仕事紹介」の実践に努めます。

(6) 就業機会の均衡化

会員の能力と希望に応じて公平に就業機会が得られるよう、ローテーションを組むなど均衡化を図り、ワークシェアリングの精神に基づき、長期就業の改善のため、適正就業に関する取扱要領に基づき均衡化に努めます。

併せて、未就業会員の就業促進を図ります。

(7) ワークプラザを拠点とした事業の推進

各種講習会・研修会を開催して会員の質的向上を図り、ワークプラザを拠点とした独自活動の拡大と、会員同士の交流、居場所づくりを推進し、退会抑制を図ります。

(8) 福祉家事援助サービス事業の推進

超高齢社会の中にあって、地域における介護関連事業の重要性が増しており、当センターにも期待が寄せられております。

今後、需要が増加する介護保険総合事業の関連サービスに対応した事業の検討をするとともに、介護有資格者の活用や家事援助等の講習会を実施し、会員の拡充と技術の向上を図ります。

(9) シルバー派遣事業の推進

指揮命令を伴う仕事はシルバー派遣事業で受注するなど、法令遵守に基づく適正就業を推進するとともに、新たな受注拡大と就業形態への対応及び多様な就業を確保するため県シ連と連携して派遣事業に積極的に取り組んでいきます。

(10) 職業紹介事業への取り組み

多様な就業の場を求める高齢者が増加していることから、あらゆるニーズに適切に対応する為派遣事業に併せて、有料職業紹介事業を進めていきます。

(11) シルバー人材センター事業の目的を達成するための諸活動

① 独自事業の展開

手作りショップ「ひまわり」の会員への割引サービスを継続し、その財源を支援する事で、会員優遇制度の充実と、独自事業の拡大を図ります。

ふれあい文化祭や、福祉健康祭りへの出展等を通して、会員の趣味・特技を生かした各種サークル活動を充実し、次のステップとして独自事業への発展を促します。

② 地域社会奉仕活動

会員による町内一斉清掃ボランティア活動や桜堤の遊歩道清掃活動を展開し、シルバー人材センターの存在をアピールするとともに、会員個人としても通学児童の見守り隊をはじめ、各種ボランティア活動や地域活動にも参加して地域社会に貢献していただくよう推進いたします。

③ 会員への福利厚生活動

会員相互の親睦を深め、シルバー人材センター事業の活性化と心豊かな仲間づくりを図るため、互助会の活動に積極的な支援をしていきます。

特に会員交流行事や、生きがいや楽しみを求めて行う各種サークル活動を支援し、魅力あるセンターづくりを目指します。

令和4年度(2022年度) 収支予算(案) 会計区分別

令和4年(2022年)4月1日から令和5年(2023年)3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
	公1			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	1,000	0	0	1,000
特定資産受取利息	1,000			1,000
受取会費	460,000	455,000	0	915,000
正会員受取会費	360,000	360,000		720,000
賛助会員受取会費	100,000	95,000		195,000
事業収益	145,791,000	2,980,000	0	148,771,000
受取配分金	125,200,000			125,200,000
受取材料費等	13,555,000			13,555,000
受取事務費	7,036,000	2,980,000		10,016,000
労働者派遣事業等受託収入	2,650,000	0		2,650,000
労働者派遣事業等受託収入	2,650,000			2,650,000
職業紹介事業受託収益	1,000	0		1,000
職業紹介事業受託収益	1,000			1,000
受取補助金等	27,000,000	0	0	27,000,000
受取連合交付金	13,500,000			13,500,000
受取町補助金	13,500,000			13,500,000
受取寄付金	1,000	0	0	1,000
受取寄付金	1,000			1,000
施設管理委託収益	755,000	0	0	755,000
施設管理委託	755,000			755,000
雑収益	1,302,000	0	0	1,302,000
受取利息	1,300,000			1,300,000
雑収益	2,000			2,000
経常収益計	177,961,000	3,435,000	0	181,396,000
(2) 経常費用				
事業費	177,961,000		0	177,961,000
支払配分金	125,200,000			125,200,000
支払材料費等	12,000,000			12,000,000
給料手当	3,796,000			3,796,000
臨時雇賃金	1,665,000			1,665,000
法定福利費	3,414,000			3,414,000
退職給付費用	1,948,000			1,948,000
福利厚生費	59,000			59,000
会議費	148,000			148,000
旅費交通費	339,000			339,000
通信運搬費	847,000			847,000
減価償却費	663,000			663,000
消耗什器備品費	456,000			456,000
消耗品費	995,000			995,000
修繕費	124,000			124,000
印刷製本費	435,000			435,000
光熱水料費	711,000			711,000

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
	公1			
賃借料	1,654,000			1,654,000
保険料	1,697,000			1,697,000
諸謝金	17,615,000			17,615,000
租税公課	804,000			804,000
支払負担金	40,000			40,000
委託費	3,325,000			3,325,000
教材費	1,000			1,000
支払手数料	10,000			10,000
雑費	15,000			15,000
管理費		3,435,000	0	3,435,000
給料手当		425,000		425,000
臨時雇賃金		1,000		1,000
法定福利費		68,000		68,000
退職給付費用		45,000		45,000
福利厚生費		87,000		87,000
会議費		226,000		226,000
旅費交通費		559,000		559,000
通信運搬費		116,000		116,000
減価償却費		1,000		1,000
消耗什器備品費		1,000		1,000
消耗品費		33,000		33,000
修繕費		7,000		7,000
印刷製本費		175,000		175,000
光熱水料費		39,000		39,000
賃借料		380,000		380,000
保険料		62,000		62,000
諸謝金		20,000		20,000
租税公課		13,000		13,000
支払負担金		609,000		609,000
委託費		120,000		120,000
支払手数料		398,000		398,000
雑費		50,000		50,000
経常費用計	177,961,000	3,435,000	0	181,396,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
過年度減価償却益				0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
過年度減価償却損				0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	19,456,839	49,590	0	19,506,429
一般正味財産期末残高	19,456,839	49,590	0	19,506,429
II 正味財産期末残高	19,456,839	49,590	0	19,506,429

収支予算書に係る注記

1. 投資活動及び財務活動に関する見込

(単位:円)

	予算額	前年度予算額	増減
【投資活動収支の部】			
(投資活動収入)			
特定資産取崩収入	0	0	0
固定資産所得積立資産	0	1,318,000	△ 1,318,000
	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
(投資活動支出)			
特定資産取得支出	0	0	0
減価償却引当資産取得支出	0	0	0
財政運営資金資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0

2. 借入金限度額

令和4年度における短期借入金限度額は、10,000,000円とする。

3. 債務負担額

(単位:円)

年 度	金 額	内 容
令和4年度	2,917,388	シルバーシステム等一式、コピー機、電話機、給茶器リース料
令和5年度	586,084	シルバーシステム等一式、コピー機、電話機、給茶器リース料
令和6年度	541,864	シルバーシステム等一式、コピー機、電話機、給茶器リース料

部 会 ・ 委 員 会 名 簿

任期 令和3年定時総会時～令和5年定時総会時

1. 専門部会

(1)総務部会

(順不同、敬称略)

理 事	押山 昌弘 (部会長) 米原 敏子 岡沢 啓造
会 員	石原 良明(副部会長) 渡邊 甲志 杉山八重子
事務局	杉山 恵美子

(2)事業部会

理 事	松井 功(部会長) 信田知恵子
会 員	内田 将善(副部会長) 寺内伊三夫 加藤 芳往
事務局	山田 文和

(3)広報部会

理 事	松崎 雅敏(部会長) 後藤 照代 渡辺 秀子
会 員	鈴木 斐子(副部会長) 芳賀 さと子 神田 勝
事務局	白畑 由美子

2. 理事監事候補者選考委員会

理事監事候補者選考委員(理事 3 名、会員 4 名)

理 事	松井 功 米原 敏子 山口 素行
会 員	寺内伊三夫(委員長) 内田 将善(副委員長) 土屋 昭治 勝間田一夫

3. 安全委員会

安全委員(理事 4 名、会員 4 名、事務局 1 名)

理 事	繁松 紀弘(委員長) 松井 功 岡沢 啓造 山田 文和
会 員	加藤 種雄(副委員長) 本間作之助 小野 勝年 秋山 勝
事務局	石黒 正行

4. 衛生委員会(人材派遣業務:連合会長泉町事務所及び事務局)常時労働50人以上 労働安全衛生法

事 務 所 (2)	山田文和(委員長) 杉山恵美子(衛生管理者) 太田 宏平 (産業医)
労働者(2)	押山昌弘 岡沢啓造 事務局 杉山恵美子

5. ふれあい文化祭実行委員会

理 事	山口 素行(委員長:互助会会長) 松崎雅敏(副) 松井功(副)押山昌弘(副) 繁松紀弘(副)、米原敏子、岡沢啓造、渡邊秀子、
互助会	寺内伊三夫(副会長) 柏木敬造(副会長) 内田 将善(副会長)

地域班長名簿

任期 令和3年定時総会時～令和5年3月31日

(敬称略)

地区	班名	地域	班長名
長窪地区	1班	元長窪、上長窪、屋代住宅	霞 登
	2班	下長窪、谷津	石原 良明
	3班	池田、尾尻住宅	中村 三重子
南一色、 納米里 地区	4班	駿河平、南一色、八分平、東ベ南一色	関 知典
	5班	納米里	渡邊 政勝
上土狩、 中土狩 地区	6班	上土狩（桜堤含む）、惣ヶ原	橋本 輝雄
	7班	中土狩（桜堤含む）エンゼル、シャリエ中土狩、東レ自治会	早津 知子
下土狩1 地区	8班	鮎壺、荻素、シャルマン	土屋 昭治
	9班	新屋町上、新屋町中 新屋町下	田口 鈴代
	10班	駅上、駅中、駅下、薄原上 薄原下	加藤 宏司
下土狩2 地区	11班	西、原、東、シャリエ南・東	杉山美智子
	12班	原分、杉原、三軒家、グランツ	大塚 睦志
竹原、本宿 地区	13班	高田、竹原、エンゼル西、シャルマン 竹原	清水 清吾
	14班	本宿	秋山 久

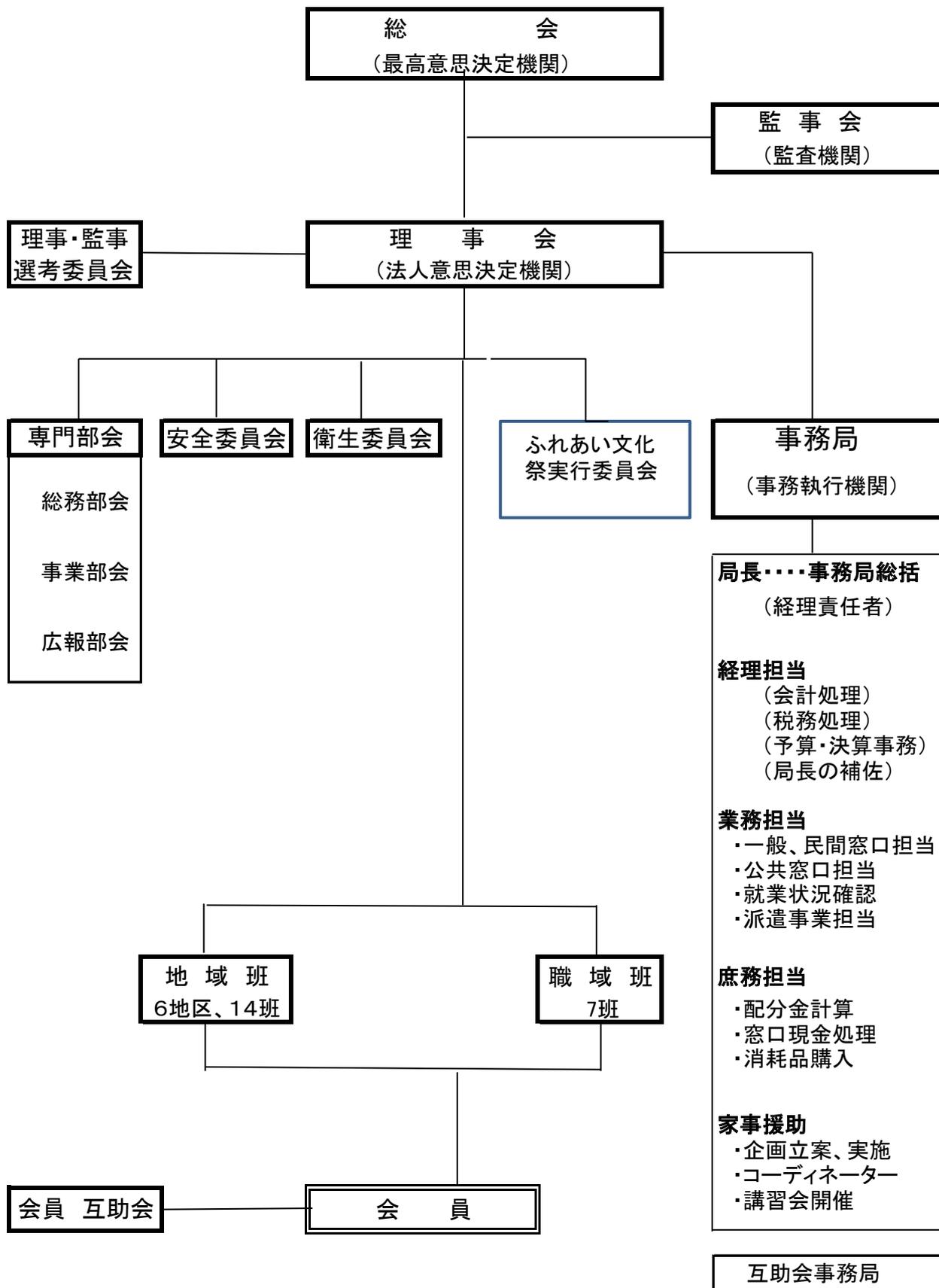
職域班世話人名簿

任期 令和3年定時総会時～令和5年3月31日

(敬称略)

班 名	氏 名
造園グループ (植木、草刈、収集)	稲村 隆之 (植木1班) 加藤 芳往 (植木2班) 近藤 登志夫 (草刈り1班) 加藤 種雄 (草刈り2班) 宮川 清司 (草刈3班) 鈴木 太三 (収集班)
木工班	山田 耕作
若草班 (草取り)	早津 知子
サポート班 (介護、子育て支援、家事援助)	芳賀 さと子
美化班 (企業内清掃)	渡邊 政勝
リフォームひまわり班	杉山 美智子
管理グループ	加藤 宏司

公益社団法人 長泉町シルバー人材センター 組織図



(公社)長泉町シルバー人材センター

第27回 会員互助会総会

議 案 書

日 時 令和4年6月24日(金) 第11回定時総会終了後
場 所 コミュニティながいずみ 3階

第27回 会員互助会総会 次第

1. 開会のことば
2. 会長あいさつ
3. 議長選出
4. 議長あいさつ
5. 議事
 - (1) 第1号議案 令和3年度事業報告について
 - (2) 第2号議案 令和3年度収支決算について
令和3年度監査報告
6. 報告事項
 - (1) 令和4年度事業計画について
 - (2) 令和4年度収支予算について
7. 議長退任あいさつ
8. 役員紹介
9. 閉会のことば

第1号議案

事業報告について

公益社団法人長泉町シルバー人材センター会員互助会も設立以来26年を経過し、会員数は3月末現在334名となっており、会員の相互扶助および福利厚生を図ることにより、健康及び生きがいに寄与することを目的とした事業も、会員皆様方の協力により達成できました。

以下、令和3年度の事業報告をします。

1 慶弔贈与事業

喜寿のお祝い令和元年度12名、令和2年度17名、香典3名

2 福利厚生事業

(1) グラウンドゴルフ大会

第46回 令和3年5月22日 32名参加

第47回 令和3年11月6日 31名参加

3 同好会活動

(1) 山野草愛好会

山野草盆栽店の見学実施、植木鉢選び、石付け、苔玉づくり等

(2) 写真同好会

撮影会年2回、勉強会年10回実施、
シルバー人材センター建物内に展示

(3) ゴルフ同好会

活動休止

(4) カラオケ同好会

活動休止

第2号議案

令和3(2021)年度 収支決算報告

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

収入	592,356
支出	160,790
差引(次年度へ繰越)	431,566

(収入)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差引 (予算-決算)	備考
会費	180,000	170,500	9,500	500円×341名
雑収入	3	4	-1	預金利息
前年度繰越金	421,852	421,852	0	
合計	601,855	592,356	9,499	

(支出)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差引 (予算-決算)	備考
事業費	100,000	58,460	41,540	同好会・グラウンドゴルフ大会2回
慶弔費	128,000	102,000	26,000	お香典5,000×3名 喜寿祝3,000×29名
事務費	3,000	330	2,670	事務用品購入代
予備費	370,855	0	370,855	
合計	601,855	160,790	441,065	

上記の通り報告いたします

会長 山口 素行 ㊟

会計 岡沢 啓造 ㊟ (原本は署名押印済みです)

監査報告書

(公社)長泉町シルバー人材センター会員互助会の令和3年度の事業の執行並びに収支決算について監査した結果、いずれも適正であることを認めます。

令和4年5月12日

監事 松井 功 ㊟

監事 上野 直美 ㊟ (原本は署名押印済みです)

令和4年度 事業計画について

事業計画を次の通り報告します。

1 慶弔贈与事業

互助会活動の目的である慶弔贈与事業は、その目的を達成しており、今年度も前年どおり継続してまいります。慶弔事項の発生は会員皆様からの連絡が頼りです。皆様方のご協力を宜しく申し上げます。

2 福利厚生事業

会員相互の親睦を図るため、今年も前年同様下記の通り事業計画を提案致します。又、さらに同好会の新規発足に努力をしていきます。皆様方の積極的なご協力を宜しくお願い致します。

(1) グラウンドゴルフ大会

第48回 5/28(土)、第49回 11/5(土) 中央グラウンドにて実施予定

(2) 新年会

長泉町福祉会館にて検討予定

(3) 親睦旅行(日帰り)

実施日 令和4年秋以降予定

(4) ふれあい文化祭

実施日 令和5年春予定

(5) 「得々ガイド」創刊と更新

会員限定のサービスを受けられる店舗等を紹介した冊子を創刊し充実します。

(6) 会員限定割引の開始

直営店「手作りショップひまわり」の服、バックや木工玩具等、会員限定の割引を行い福利厚生の充実を図ります。

3 同好会活動

(1) 山野草愛好会

寄せ植え勉強会年数回の実施、ふれあい文化祭出品展示、山岸園山草盆栽店研修、野乃花山野草店見学

(2) 写真同好会

撮影会年3回、勉強会年9回の実施、シルバー人材センター建物内に展示

(3) ゴルフ同好会

年1回のコンペの実施

(4) カラオケ同好会

活動中止

令和4(2022)年度 収支予算について

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

収支予算を次のとおり報告します。

(収入)

(単位:円)

科 目	本年予算額	前年予算額	増 減 (本年－前年)	備 考
会 費	180,000	180,000	0	500 円×360 名
雑 収 入	4	3	1	預金利息
前年度繰越金	431,566	421,852	9,714	
合 計	611,570	601,855	9,715	

(支出)

(単位:円)

科 目	本年予算額	前年予算額	増 減 (本年－前年)	備 考
事 業 費	100,000	100,000	0	新年会・各同好会・グラウンドゴルフ大会他・会員旅行
慶 弔 費	60,000	128,000	-68,000	喜寿祝見舞・香典等
事 務 費	3,000	3,000	0	事務用品購入代、総会用印刷代
予 備 費	448,570	370,855	77,715	
合 計	611,570	601,855	9,715	

科目間の流用は可とする

互助会役員名簿

(令和3年定時総会時～令和5年定時総会時)

会 長	山 口 素 行	幹 事	橋 本 輝 雄
副 会 長	寺 内 伊 三 夫	幹 事	渡 邊 政 勝
副 会 長	内 田 将 善	幹 事	早 津 知 子
副 会 長	柏 木 敬 造	幹 事	土 屋 昭 治
会 計	岡 沢 啓 造	幹 事	田 口 鈴 代
幹 事	霞 登	幹 事	加 藤 宏 司
幹 事	石 原 良 明	幹 事	杉 山 美 智 子
幹 事	中 村 三 重 子	幹 事	清 水 清 吾
幹 事	関 知 典	幹 事	秋 山 久
幹 事	大 塚 睦 志		
※ 幹事は各地域班長が兼ねる			
監 事	松 井 功	監 事	上 野 直 美
顧 問	大 塚 睦 志		

第27回互助会総会

喜寿祝贈呈者名簿

3年度該当者 14名（令和3年4月1日～令和4年3月31日該当者）
（敬称略）

会員番号	氏名	会員番号	氏名
860	西澤 三樹	1010	小野 勝年
1056	繁松 紀弘	1070	渡邊 徳幸
1071	山口 素行	1082	鈴木 斐子
1083	渡辺 秀子	1085	穂坂 道夫
1094	富岡 雪江	1096	本間 作之助
1110	土屋 忠	1142	村橋 則義
1206	霞 登	1296	小池 英子

※5年以上会費を納入した会員に限る。

安 全 心 得 10 ケ 条

- 1) 作業は、安全第一を心がけ、急いだりあわてたりしないこと。
- 2) 器具類は、使用する前に必ず点検すること。
- 3) 服装・履物は、作業に合った動きやすいものにすること。
- 4) 作業前には、軽い柔軟体操をして体をほぐすこと。
- 5) 加齢による諸機能の低下を十分に認識し、無理をしないこと。
- 6) 作業現場では、常に整理整頓を心がけること。
- 7) 共同作業では、合図、連絡を正確に行うこと。
- 8) 帰宅するまでは仕事のうち、交通事故に気をつけること。
- 9) 健康には、常に注意し、健康な状態で就業すること。
- 10) 仕事の前日は、十分睡眠をとるように心がけること。